

令和4年11月21日

尾道市長 平谷祐宏 様

尾道市総合戦略評価委員会  
会 長 藤 澤 毅

### 地方創生推進交付金事業の評価について

#### 【評価結果】

尾道市が地方創生推進交付金を活用し、令和3年度に実施した4事業は、地方創生に対して有効であったと評価する。

#### ・尾道市スマートシティエコシステム構築事業

(評価理由)

デジタル技術を使用した、地方が抱える社会問題等の解決や新規事業展開に向け、順調に実績を上げているため。また、初心者向けにデジタル化の意味やDXに対する知識を深める研修を行うなど、尾道市のスマートシティ化に向けて積極的な取組姿勢が見られたため。

(指摘事項)

本交付金事業で得たデータの提供方法や目的を明確にし、今後も長期的な視点を持って継続的に取り組んでいくことを期待する。

#### ・SAVOR JAPAN（農泊食文化海外発信地域）活動推進支援事業

(評価理由)

新型コロナウイルスの影響により、KPIは目標値を下回ったが、情報発信や商品開発、またイベントの実施、人材育成など、将来を見据えた取組を実施・継続し、尾道の魅力発信に繋がったと考えられるため。

(指摘事項)

交付金事業としては終了するが、メディア掲載の閲覧実績やSNSのフ

フォローについて分析するとともに、開発した新商品を継続的に展開する方法を検討し、生産者の所得向上に繋げてほしい。

#### ・瀬戸田地域未来創造支援事業

(評価理由)

新型コロナウイルスの影響により、KPIは達成できていないが、ワークショップを通じて地元の人たちがモチベーションを高める機運の醸成に繋がっており、事業の成果が表れていると考えられるため。また、宿泊者数の増加要因となった宿泊施設の新たな開業は、地元商店街を中心とした魅力発信が奏功したものと評価できる。

(指摘事項)

他のエリアへの横展開を検討するとともに、本事業終了後も、事業内容や検証結果を同組織に詳細に引き継ぎ、今後の継続的な地域活性化に役立ててほしい。

#### ・尾道市シティープロモーション推進事業（移住定住の促進・関係人口の拡大）

(評価理由)

KPI 全指標で目標値を上回っているだけでなく、移住者の年齢や移住前の住所等の情報収集及び分析を行っており、各地でキーパーソンが育っていることから、UIJターンが順調に進んでいると考えられるため。

(指摘事項)

本事業の最終目標を見据え、移住後のアンケートやヒアリングなどで定住に向けたフォローアップを行ってほしい。